

令和7年郡山市議会3月定例会

閉会時 市長挨拶

令和7年郡山市議会3月定例会の閉会にあたり、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、長期間にわたり慎重なる御審議のもと、提出いたしました全ての議案について御賛同を賜り、厚く御礼を申し上げます。

御承認いただいた令和7年度当初予算をはじめ各議案、並びに審議の過程で賜りました貴重な御意見や御提言につきましては、次の市長にしっかりと引き継がせていただきます。

さて、私は、2013年4月に市民の負託を受け、第14代の郡山市長に就任いたしましたが、この4月26日の任期満了をもちまして、市長職を辞することいたしました。この3期12年間は、昼夜を分かたず、常に市政を念頭において過ごした日々でありました。

本日、私の任期最後の本会議を迎えておりますが、思い返しますと、2013年6月13日の定例会本会議において、市長として初めてこの議場に立ち、お一人欠席されておりましたので39名の議員の皆様の前に、市政運営に関する所信を述べさせていただきました。

あの日の緊張感と高揚感は、昨日のこのように思い出され、また、語った熱い思いは、市長として判断に迷った際に立ち返るべき原点であり続け、終生忘れ得ぬものであります。

以来、本日まで48回の定例会、11回の臨時会を通じて、すでに引退された方等を含め計69名の議員の皆様から、それぞれの地域や関係者・団体等の皆様が抱える課題や御要望などをお聞かせいただくとともに、様々な施策の御提案を頂戴しました。

私も延べ1,600回を超える発言の機会をいただき、国政・県政の方針も市政に活かしながら、本市の進むべき道筋や解決しなければならない課題、緊急に対応すべき事案等について訴えさせていただきました。

種々議論を重ねる中では、時に厳しい御意見、御判断を頂戴したこともございましたが、様々な施策に御理解、御賛同をいただき、私の公約に掲げた多くの事業やフィードバックで取組むべき政策を実現することができたと考えております。

また、公有地の売却やネーミングライツの活用等により税外収入確保に意欲的に取り組んだことも、人口減少時代における持続可能な財政運営に寄与できたものと認識しております。

特に、全国初の「Z世代活躍係」設置による施策への意見反映をはじめ、「わかものボードレスプロジェクト」や「郡山広域圏チャレンジ新発想研究塾」における数々の提言、デジタル技術を駆使した多くのカイゼン活動など、前向きな若手職員の皆さんが、上司や先輩職員の温かい指導・サポートのもとでのびのびと活躍し、目覚ましい成果をあげてくれたことも大きな喜びであります。

また、市議会におかれましても、タブレット端末やA I字幕表示など他自治体に先駆けてデジタル技術を導入されたほか、議員定数の削減、議論の活発化とわかりやすさを目指した質疑方式の見直し等、様々な議会改革を実行されるとともに、議場における数々の先進的な取り組みや議員提案による条例制定など、積極的な議会活動を推進いただきましたことに、心から敬意を表します。

まさに、地方自治の本旨に則り、皆様とともによりよい市政運営を進めることができたことと確信しております。

これまで御指導、御叱正を賜りました議員各位、そしてその活動をお支えいただいた議会事務局の皆さんに改めまして心からの敬意と感謝の意を表します。

また、多大なる御理解と御協力により、ともに歩ませていただいた市民並びに事業者の方々、そして苦楽をともにし一緒に汗をかいてくれた市職員の同僚の皆さんに対しましても、深く感謝を申し上げます。

今後におきましては、私も故J. Fケネディ元アメリカ大統領の就任挨拶の響に倣い、「市が市民のために何をするか」以上に「市民たる私が市の為に何ができるか。」を自問自答し実行し、結果として市政に貢献できるよう皆様の驥尾に付し努力して参ります。

議員各位におかれましては益々御健勝にて、一層の御尽力、御活躍を賜りますようお願いを申し上げ、閉会の御挨拶といたします。

誠にありがとうございました。

※この内容は郡山市ウェブサイト「郡山市議会中継」の動画から引用したため、郡山市議会の公式記録ではありません。